

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

心臓 CT から計測した冠動脈プラーク性状が FFR および iFR・RFR におよぼす影響の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年4月1日から2019年12月31日までに、当院において心臓 CT 検査を施行し、3か月以内に心臓カテーテル検査で FFR および iFR・RFR を測定している患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法

経皮的冠動脈形成術(以下 PCI)は、様々な手法によって虚血評価を行いエビデンスに基づいて治療が行われています。瞬時血流予備量比 (iFR) と冠血流予備量比 (FFR) を比較した大規模臨床試験である DEFINE FLAIR では、FFR ガイド PCI 群と iFR ガイド PCI 群で1年後の心血管イベントに有意差がないことが報告されました。また、Resting Full-cycle Ratio (RFR)に関する Euro PCR の報告では、RFR は iFR と同じ Cut-off 値 0.89 で統計学的に同等であることが証明され注目を集めています。しかし、FFR と iFR・RFR の値はプラークの性状や各冠動脈において結果が異なることを経験します。本研究の目的は、心臓 CT から計測した冠動脈プラーク性状が FFR および iFR・RFR の値に影響をおよぼすか検討します。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2017年4月1日から2019年12月31日までに、当院において心臓 CT 検査を施行し、3か月以内に心臓カテーテル検査で FFR および iFR・RFR を測定している患者データの中から、患者背景（性別、年齢、診断名、身長、体重、冠動脈危険因子）、X線画像、CT 画像、血管撮影画像を調査対象としております。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部

氏名：橋高 大介

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-6426-3122

研究責任者：橋高 大介